



私の好きな場所

My favorite Place

薩摩剣士隼人プロジェクト
総合プロデューサー・制作総監督

とやま たけひろ
外山 雄大さん

昭和44年生まれ。緑丘中学校、甲稜高校（現、明桜館高校）卒業後、数々の仕事を経験。現在は「薩摩剣士 隼人」を制作する株式会社ポケモンプロの副社長。「薩摩剣士 隼人」は外山さんら熱烈な特撮ヒーローファン有志で作る自主制作番組。



かごしま県民ヒーロー“薩摩剣士 隼人”初登場の地！ 多賀山公園に始まり、多賀山公園に帰って来る！



“薩摩剣士 隼人”と多賀山公園

記念すべき「薩摩剣士 隼人」の第一話「だいやめをすつどー」の撮影場所です。

清水町付近のJ R鹿児島本線の路線脇から石畳の参道を登りきると、狛犬が鎮座した多賀神社の境内があります。第一話では、薩摩犬つんが幻魔神狐ヤッセンボーやくぐり狐衆と争う中、太鼓の響きとともに隼人がさつそうと登場します。隼人はその場所、颯のごとく、縦横無尽に駆け回りますが、背景のアコウの木々の深緑や朱色に装飾された多賀神社の社殿に、全身にまとう黒い鎧がよく映えていましたね。

実は、シリーズを通して、隼人は一度も剣を相手の体には当てていません。相手を倒すのではなく、剣と剣、拳と拳を交えることで、相手の言い分をしっかりと受け止め、余計な争いはやめよう、と諭しているのです。どこか郷土鹿児島島の偉人、西郷隆盛さんに似ていますよね。多賀神社の場面も、最後にはくぐり狐衆に対して、「よか立ち会いじゃった。またすつが」と語っていますしね。相手を思いやるおおらかさ、懐の深さなどが西郷さんに似ていて、県民の皆さん、特に

子どもたちに受け入れてもらえているのでしようね。

多賀山公園へのこだわり

撮影を開始する前から、鹿児島市内のロケ地に良さそうな場所を探していました。その頃から、この多賀山公園は桜島が見渡せるとてもきれいな場所だと思っていました。公園の奥には石橋や島津氏の居城であった東福寺城の跡があり、歴史的にも奥深く趣もあるので、隼人の撮影場所に最適な場所だと思います。また、この公園からは



外山さんをはさんで、左:幻魔神狐ヤッセンボー、右:隼人

眼下に祇園之洲公園や、鹿児島市街地、錦江湾、そして雄大な桜島を望めます。私自身、中学時代は吉野台地で育ったので、錦江湾と桜島を一望できるこの



よりよい映像となるよう、スタッフと一致団結して撮影しています

絶景は昔を懐かしめる場所です。隼人は郷土鹿児島県の県民ヒーローとして頑張っていますので、最初に、私のなじみのある光景を持ったこの公園に登場させることができ、本当に良かったと思います。

第一部完結編のクライマックスで隼人とヤッセンボーとの最終決戦をここで撮影しました。緊迫した場面の撮影が多いですが、この公園内では不思議とリラクセスできます。大変静かな場所ですし、アコウの木々の隙間からのぞく木漏れ日や深緑の香りが漂う空気の澄んだ初秋にこの公園に来るのが特に好きですね。この公園から物語が始まってまたここで完結するのも何かの縁だと思っています。

これからも自分の郷土鹿児島を大切に、多くの人が郷土の歴史や文化に親しめるような映像作品の制作・発表をしていきます。